

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0145/150705/02/00		事業の種類		4	
年度	19	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		作成日	平成21年1月20日		重要度	4
予算事業名		高齢者等住宅改造助成事業		担当部課名	健康福祉課				
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり							
施策名		高齢者福祉		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者							
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅							
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする							

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	助成件数	件	21	17	13	19

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.150	0.300	200.0	0.300	100.0	0.300	100.0	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	2,290,008	3,293,034	143.8	3,349,885	101.7	3,281,172	97.9	
	事業費	5,555,000	4,804,000	86.5	3,162,000	65.8	5,200,000	164.5	
	合計	7,845,008	8,097,034	103.2	6,511,885	80.4	8,481,172	130.2	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金	2,777,000	2,402,000	86.5	1,581,000	65.8	2,600,000	164.5	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	5,681,126	5,695,034	100.2	4,930,885	86.6	5,881,172	119.3	
	合計	8,458,126	8,097,034	95.7	6,511,885	80.4	8,481,172	130.2	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	25	25	100.0	25	100.0	19	76.0	
	実績	21	17	81.0	13	76.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		件数あたりのコスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	402,768	476,297	118	500,915	105	446,378	89	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにするため必要である。	5	5
	市民ニーズ	身体状況が低下しても、在宅で生活を希望される高齢者は多い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	実績件数は減少傾向にあるが、1件あたりの補助経費に大きな差は見られない。	4	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。		
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時、専門家のアドバイスにより、不要な工事は抑えられている	4	4
	手段の最適性	県補助要綱のとおり事務を執行している。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助がなくなると実施が困難

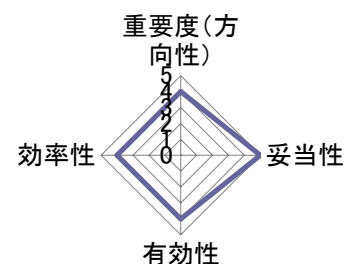
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

継続実施



検討の有無	—
総合指標	23.5